

オンライン説明会

アコム株式会社



2024年06月14日

■ 免責事項

本資料の数値のうち、過去の事実以外の当社グループの計画、方針その他の記載にかかわるものは、本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づいて作成したものであります。しかしながら、当社グループの事業展開上リスクとなる可能性がある要素が複数存在しており、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。

また、利息返還請求の動向は、外部環境の変化等に影響を受けやすいことから不確実性が高く、その影響として利息返還損失引当金繰入額を計上する場合があります。

最終の業績はこれらのリスクを含むさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

■ 本資料における表記

L・C事業	ローン・クレジットカード事業
MUCG	エム・ユー信用保証
yoy	前年同期比または前期比
ytd	前期末比
(E)	見通し
EB、EASY BUY	EASY BUY Public Company Limited
ACF	ACOM CONSUMER FINANCE CORPORATION

■ 本資料に関するお問い合わせ

アコム株式会社 広報・IR室

☎ (03)6865-6474

✉ ir@acom.co.jp

1. 会社概要・沿革
2. 中核3事業の概要
3. 2023年度の振り返り
4. 業容・業績
5. 配当の状況
6. 2024年度の計画

商 号	アコム株式会社
事 業 内 容	ローン・クレジットカード事業 信用保証事業 海外金融事業
創 業	1936年4月2日
設 立	1978年10月23日
グループ会社	国内4社*1 / 海外3社
従 業 員 数	連結：5,404人 / 単体：2,042人*2
親 会 社	三菱UFJフィナンシャル・グループ
証 券 コード	8572（東京証券取引所 スタンダード市場）



代表取締役社長
きのした まさたか
木下 政孝

社名の由来

acom

Affection 【愛情】
COnfidence 【信頼】
Moderation 【節度】

1936

「丸糸呉服店」
として創業



1960

サラリーマン
金融を開始



1970

現金自動
貸付機を開発



日本初

1979

24時間稼働の
ATMを設置



業界初

1993

自動契約機
「むじんくん」を導入



業界初

1996

タイ王国に
「EASY BUY」を設立



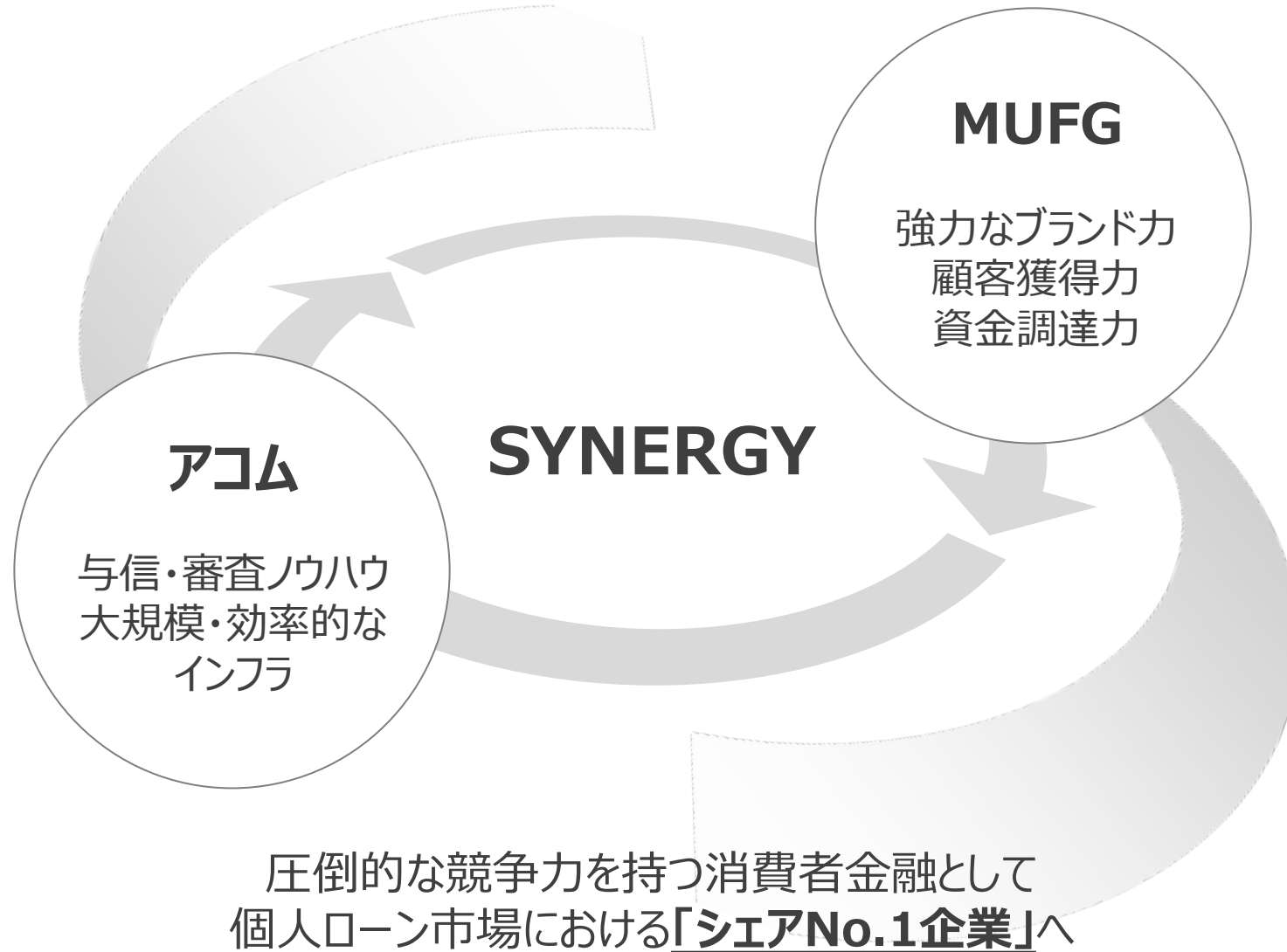
1999

クレジットカード
事業進出



2001

無担保ローンを
対象とした
信用保証事業を
開始



1. 会社概要・沿革
- 2. 中核3事業の概要**
3. 2023年度の振り返り
4. 業容・業績
5. 配当の状況
6. 2024年度の計画

個人向けの無担保ローンを基本とした 3つのビジネス

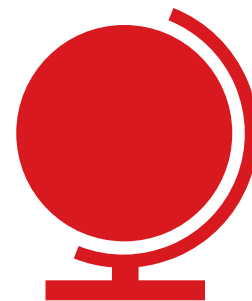
ローン・ クレジットカード事業



信用保証事業



海外金融事業



ロケーション

国 内

国 内

海 外

融資の形態

直 接

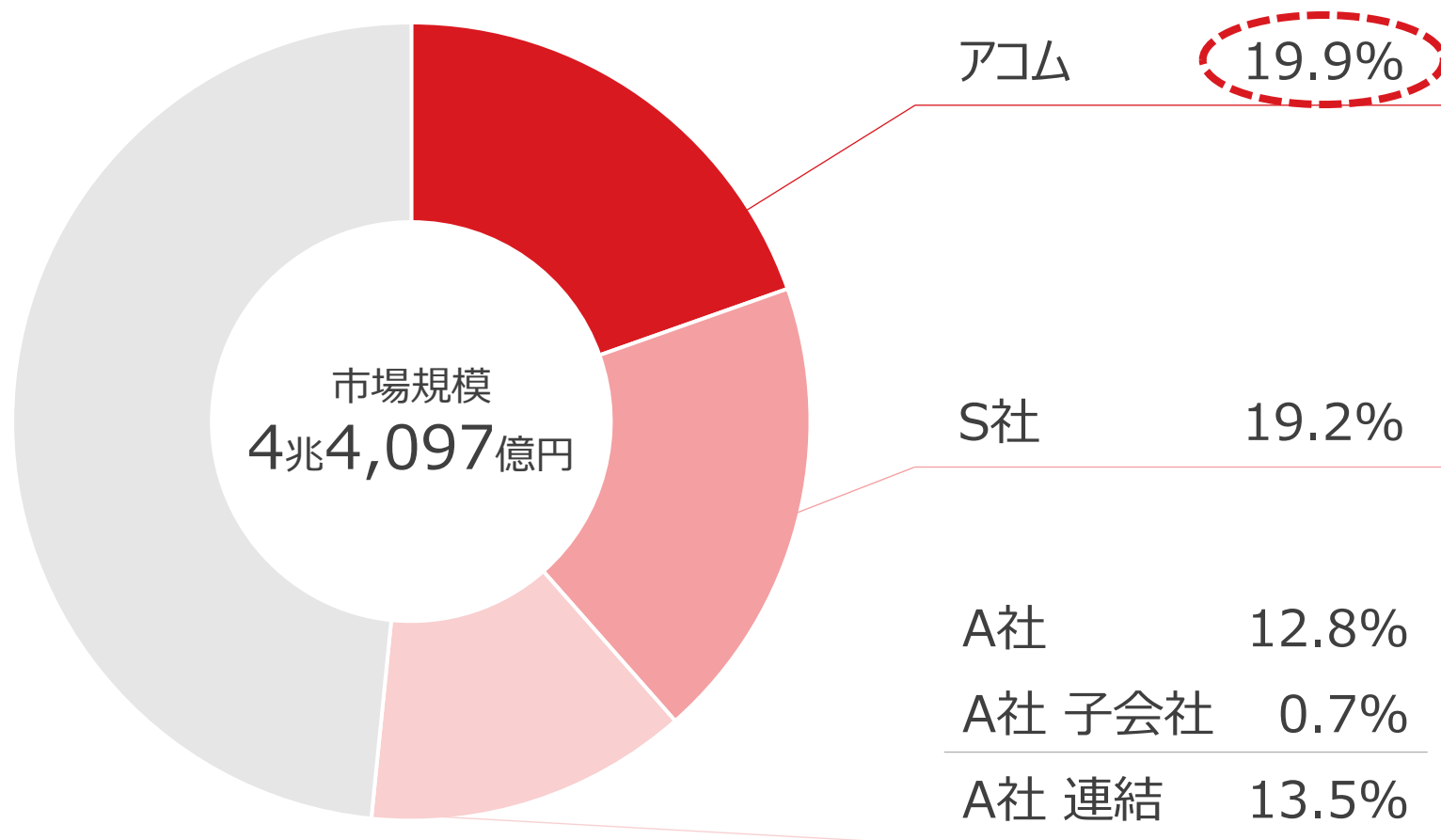
間 接

直 接

欲しい商品や受けたサービスがあるけれど、
手元に決済手段がないというお客さまニーズに応えるビジネス

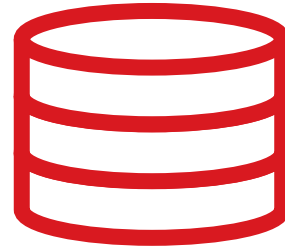


「5S」のビジネスモデルを確立





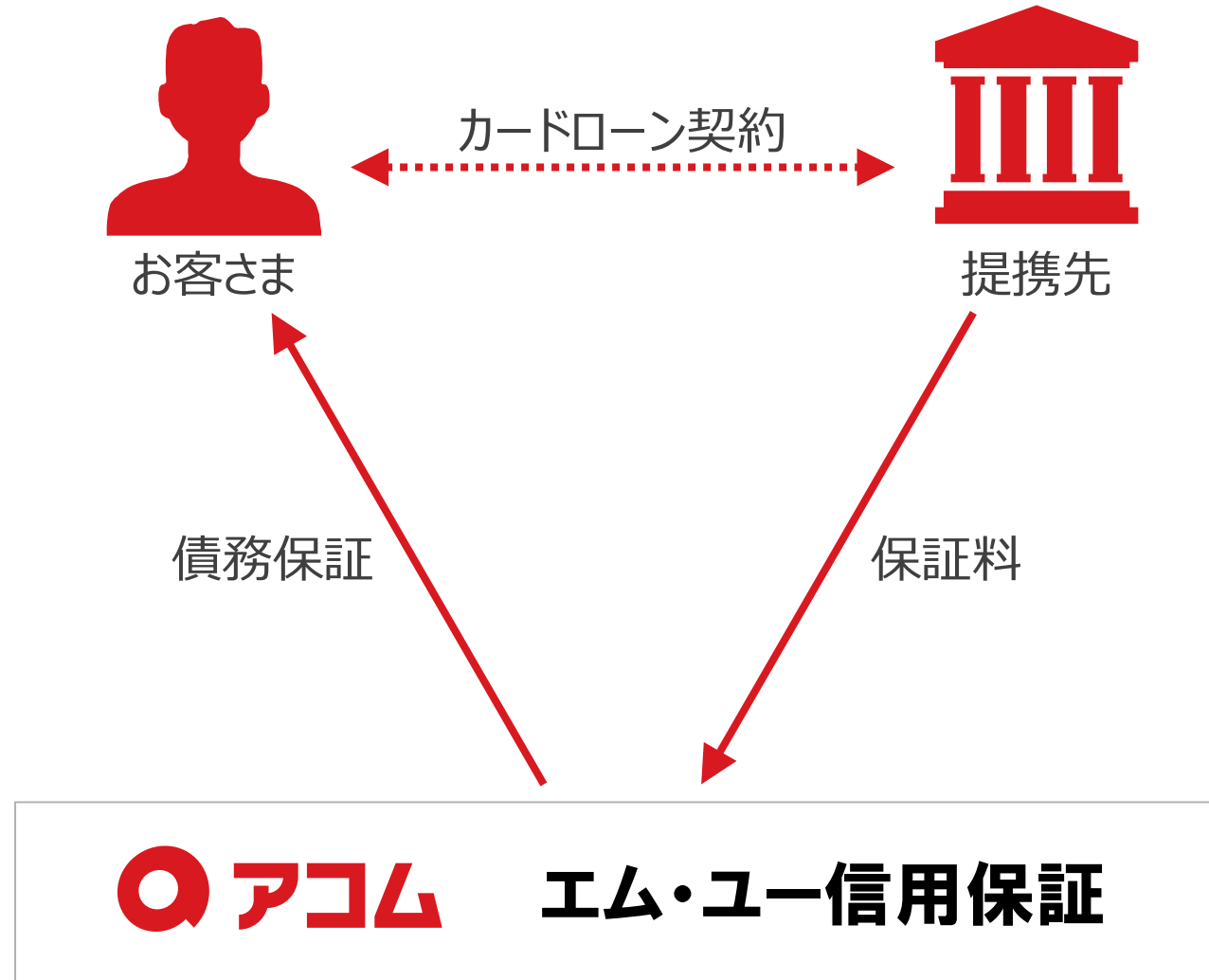
過去**1,200万人**を
超えるお客さまとの
お取引実績

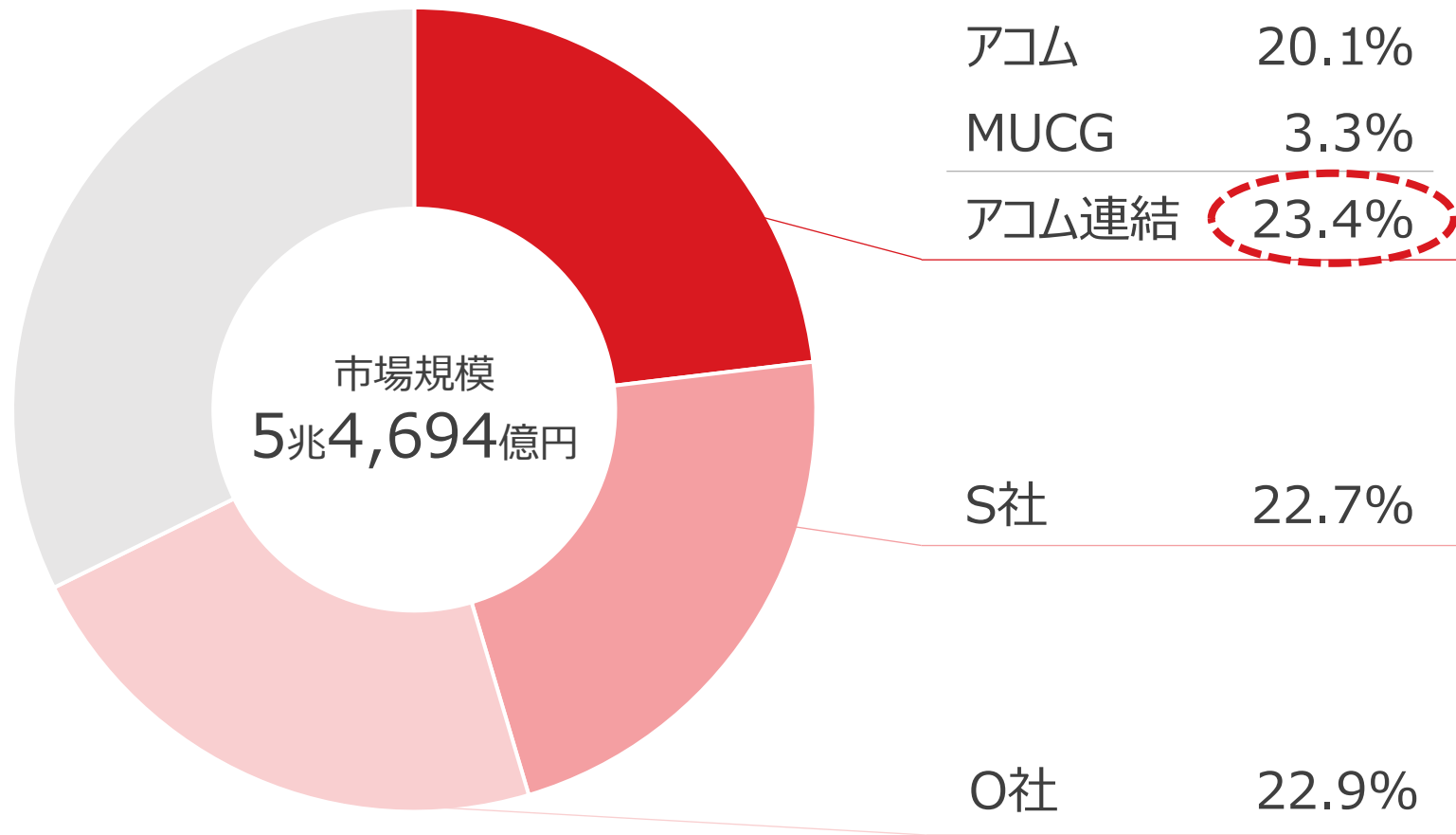


膨大なデータを
活用した 高度な
与信・審査ノウハウ



全国約650台の
**クレジットカード
即時発行機**





「一県一行」の提携方針

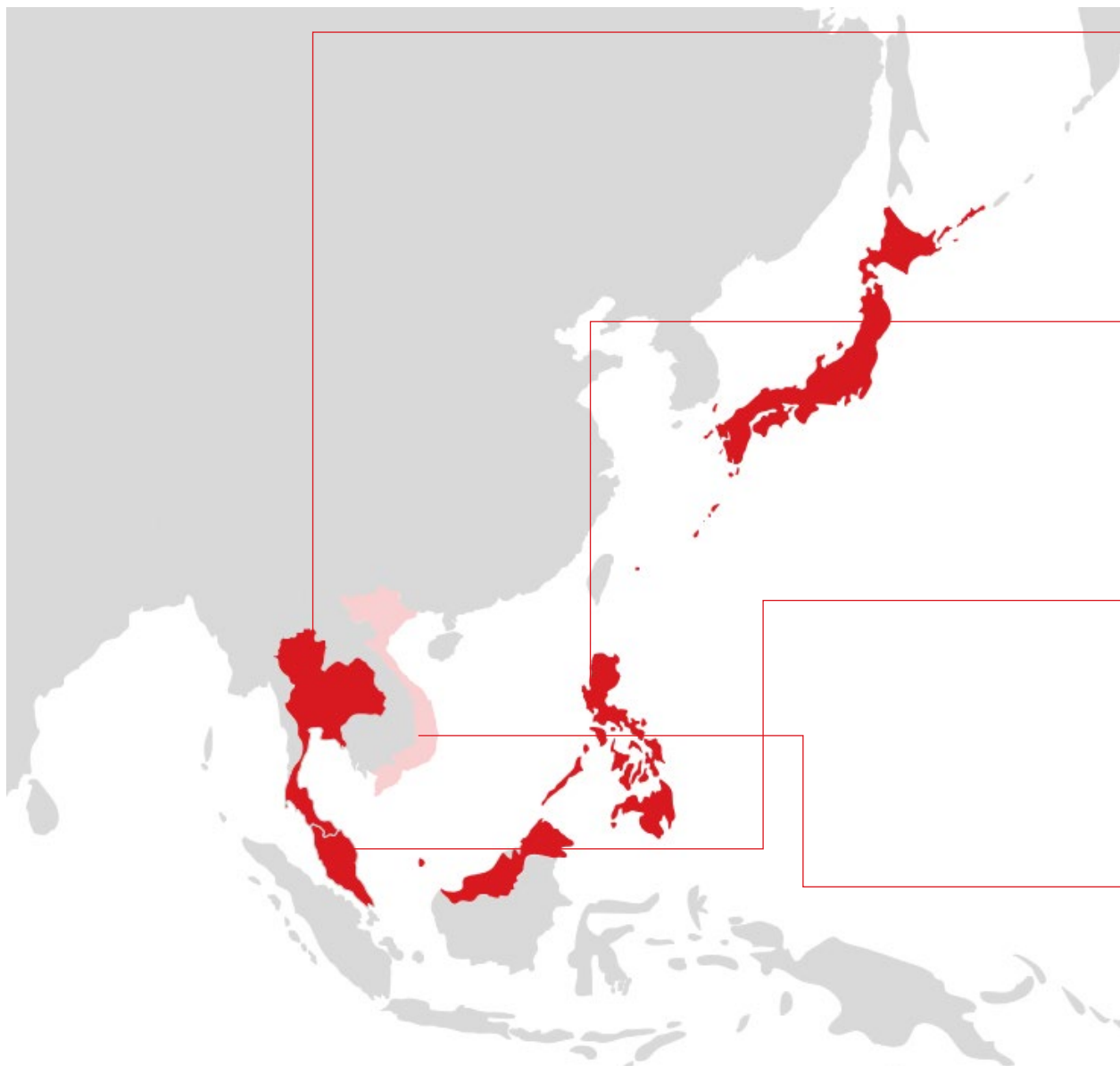
商圏のカニバリゼーションの防止

緊密な提携関係による
きめ細やかなサービス提供

ローン事業で培ったノウハウ

与信・審査システムの
提供

業務に精通した
人材の派遣



タイ王国

EASY BUY Public Company Limited

出資比率： 71.00%

設立年月： 1996年9月

事業内容： 無担保ローン事業、インストールメントローン事業

フィリピン共和国

ACOM CONSUMER FINANCE CORPORATION

出資比率： 80.00%

設立年月： 2017年7月

事業内容： 無担保ローン事業

マレーシア

ACOM (M) SDN. BHD.

出資比率： 100.00%

設立年月： 2021年7月

事業内容： 無担保ローン事業

ベトナム社会主義共和国

ACOM VIETNAM FINANCE COMPANY LIMITED

出資比率： 100.00%

事業内容： 無担保ローン事業

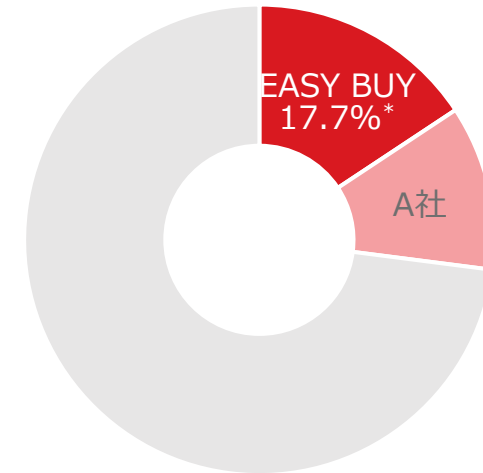
以下の内容でライセンス申請中

日本における
ローン事業の豊富な経験



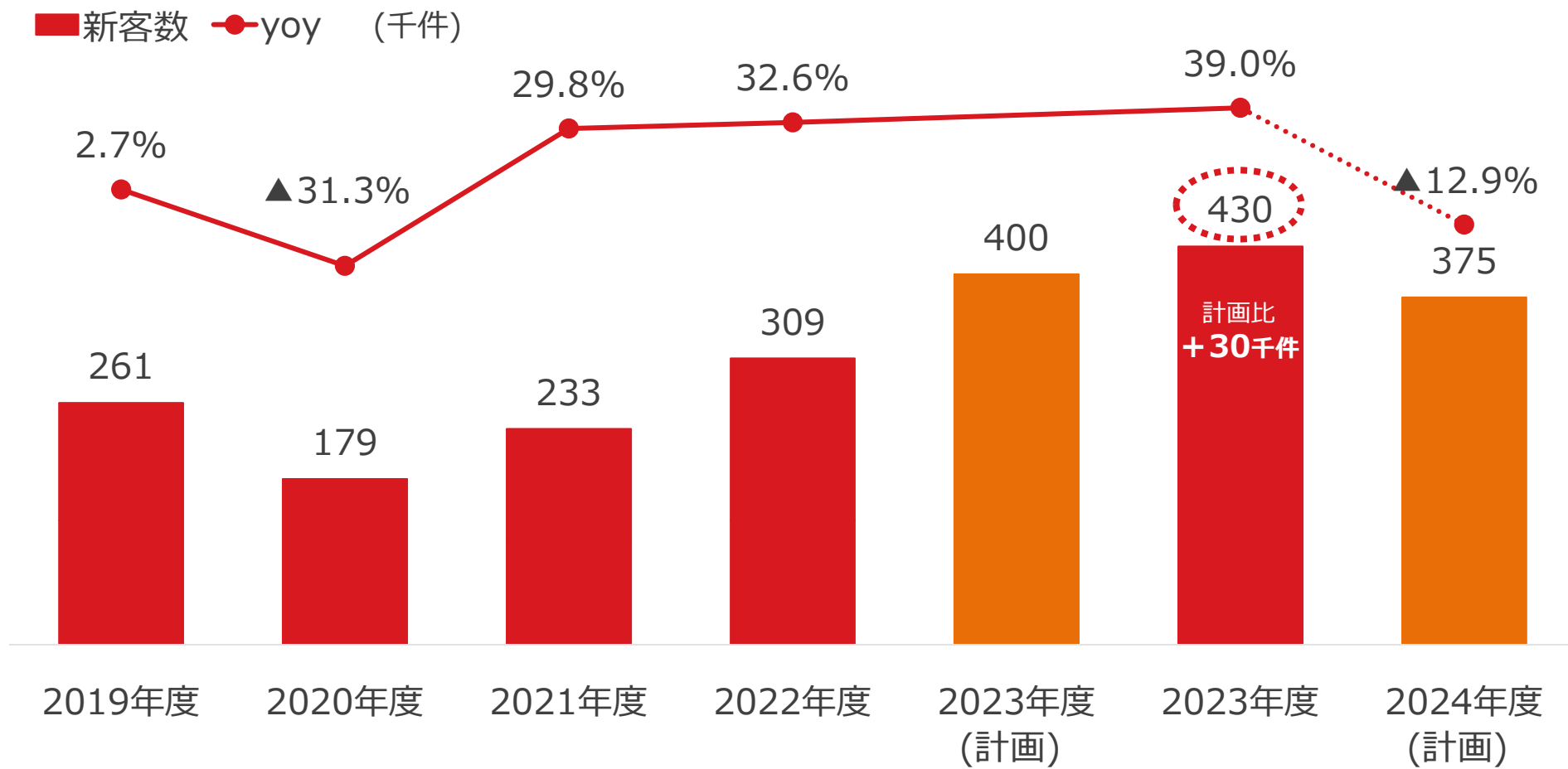
タイにおける
25年以上の事業展開

タイ ノンバンク市場
トップシェア



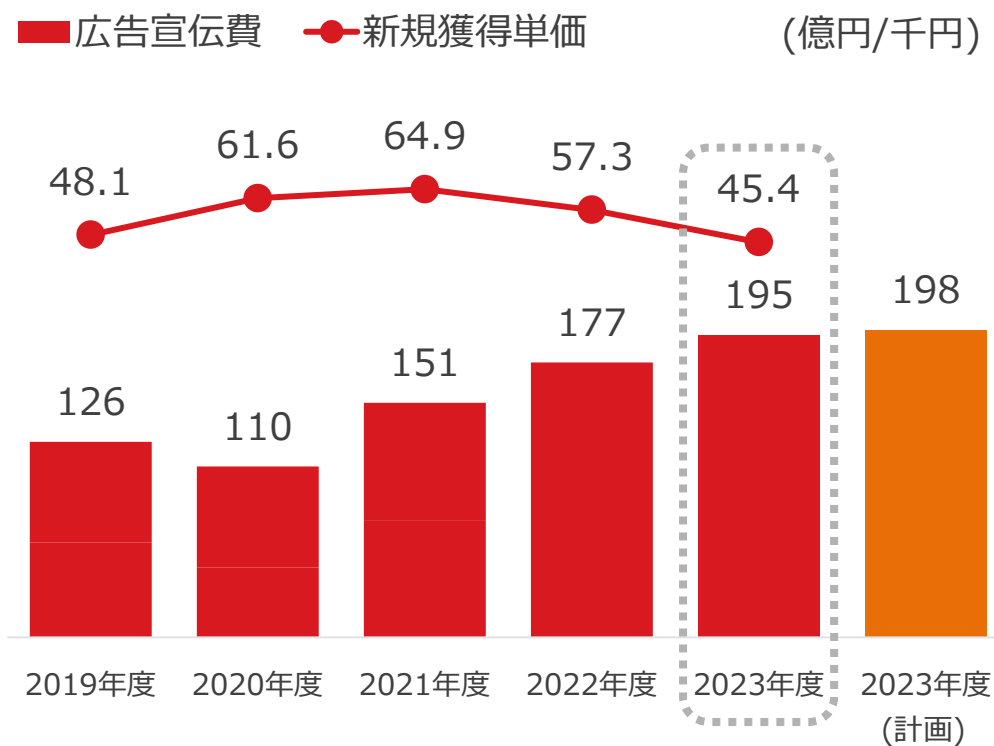
1. 会社概要・沿革
2. 中核3事業の概要
- 3. 2023年度の振り返り**
4. 業容・業績
5. 配当の状況
6. 2024年度の計画

- 通期計画の40万件を上回る、43万件で着地

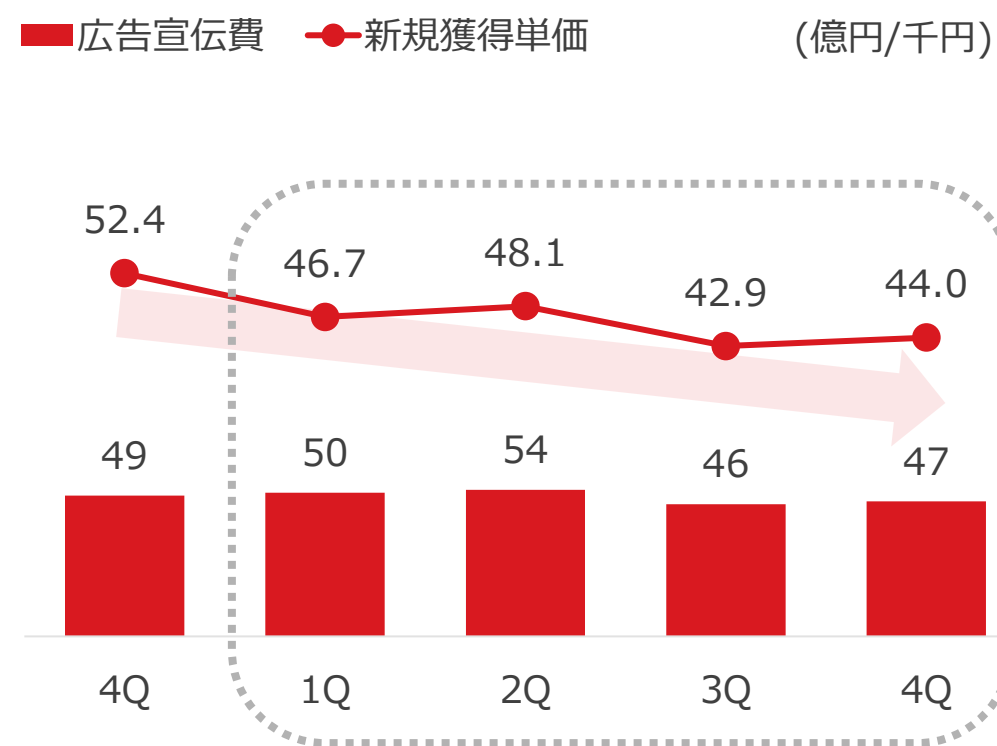


- 効率的に広告投下をしたことにより計画を下回り着地
- 新規のお客さまは将来の安定した収益源となるため、未来への先行投資と捉え、積極的に新規を獲得

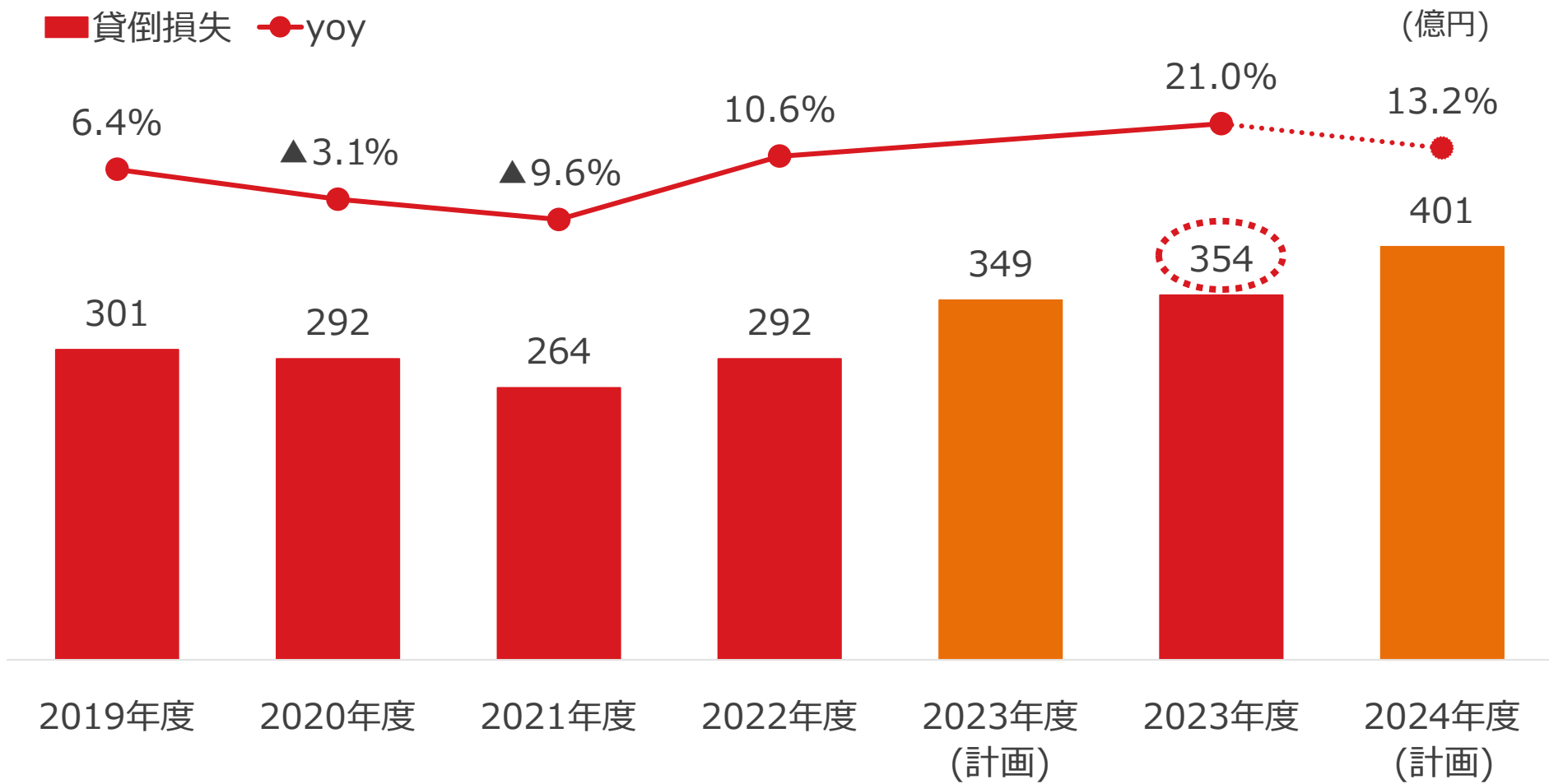
年度別推移



2023年度 四半期別推移



- 業容拡大や新規顧客の増加により貸倒損失が増加



新規事業

(Embedded Finance)

GeNiE



エンベデッド・ファイナンスの推進にあたり
既存のパッケージを活用したシステムを構築



設立

- ✓ 2022年4月設立



システム開発

- ✓ 2023年6月よりシステム開発に着手



事業開始

- ✓ 2024年6月事業開始
- ✓ 業務提携先の開拓を推進

金融機関との保証提携拡大

AEON Bank



2024年5月に、イオン銀行と業務提携契約を締結
来期以降に保証提携開始予定



金融機関との保証提携拡大および、
新たな事業会社と保証提携に向け交渉中

新たな国への進出実現



2023年9月にマレーシアにて事業を開始
2024年1月に、オンライン契約のライセンスを取得
3月よりWeb完結サービスを開始

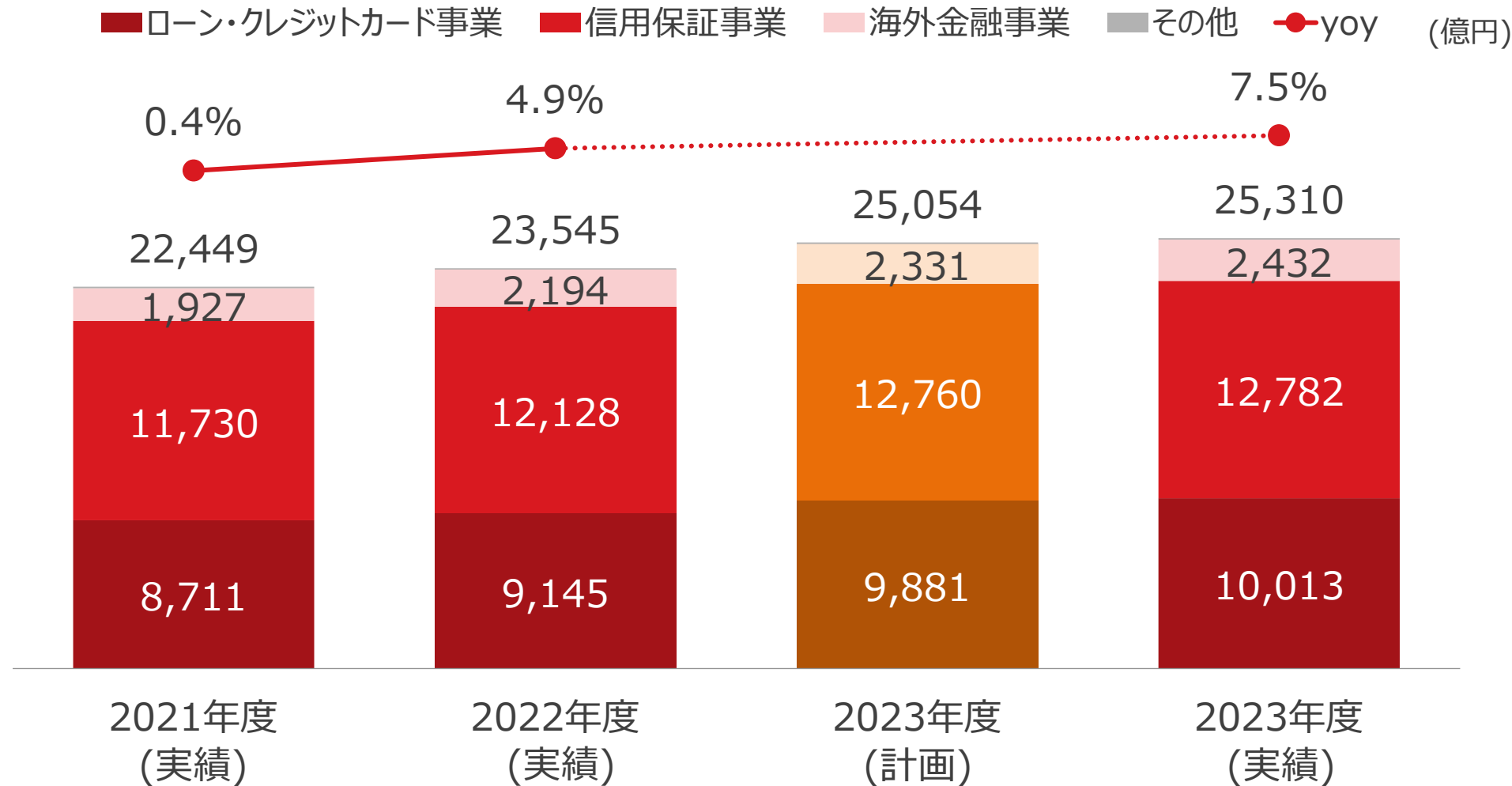


その他アジア諸国についても調査活動を継続

1. 会社概要・沿革
2. 中核3事業の概要
3. 2023年度の振り返り
- 4. 業容・業績**
5. 配当の状況
6. 2024年度の計画

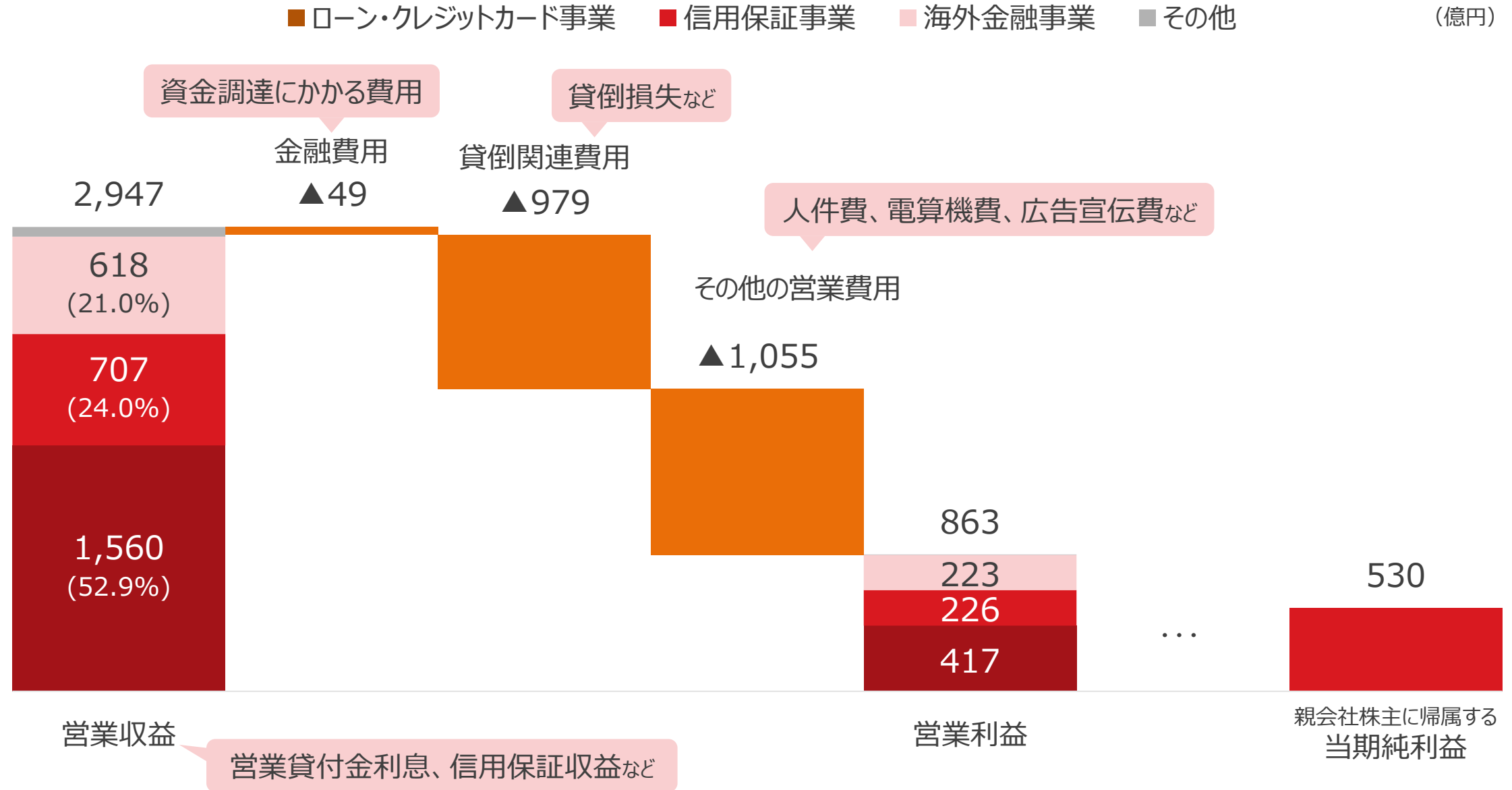
2023年度の業容

- 国内事業の新規利用および追加利用が好調だったことや、円安バース高の為替影響により、計画を上回る着地
- 中期経営計画における残高目標2.5兆円を1年前倒しで達成

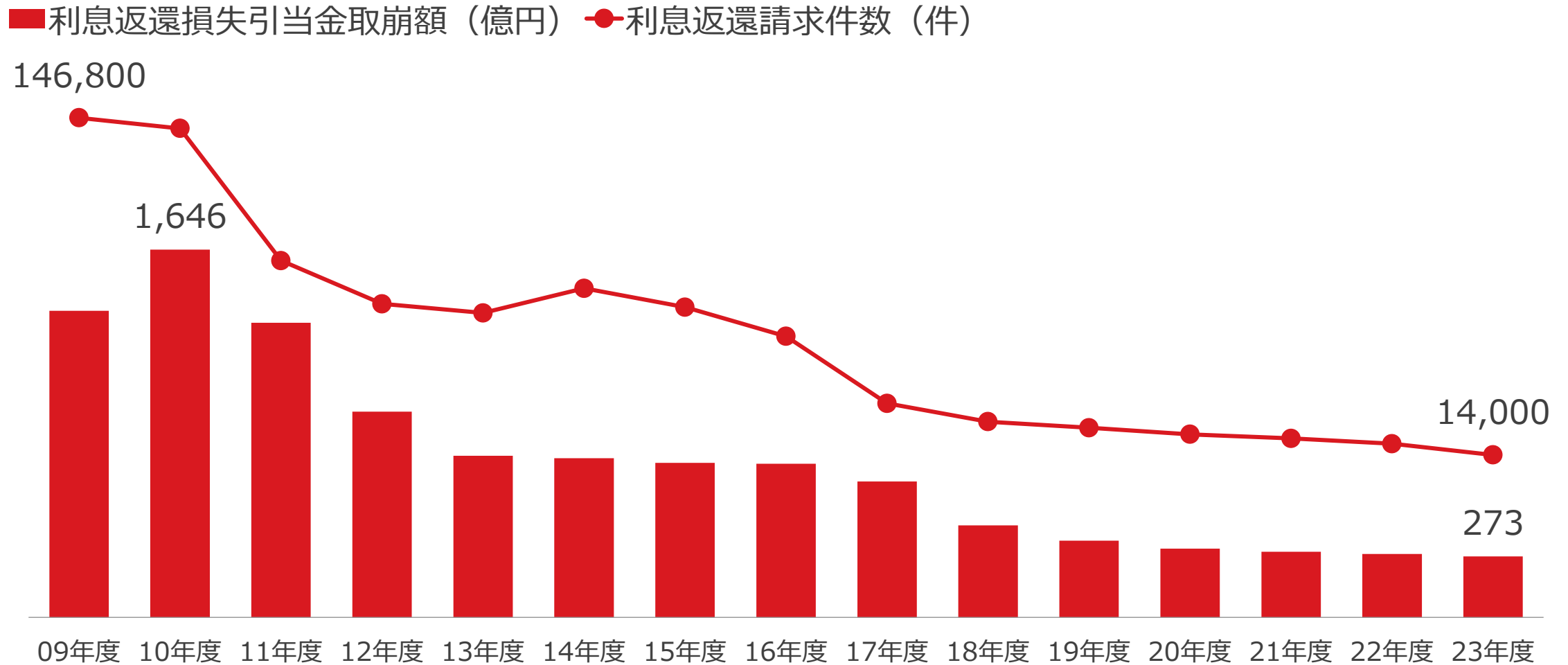




2023年度の業績



Q 利息返還の推移



取崩額・請求件数ともに着実に減少し、業績に与えるインパクトは低下

* 利息返還請求件数は、弁護士・司法書士受任債権発生件数のうち、当社が利息制限法に基づいて再計算した結果、利息返還金が発生する件数（再受任分を含む）

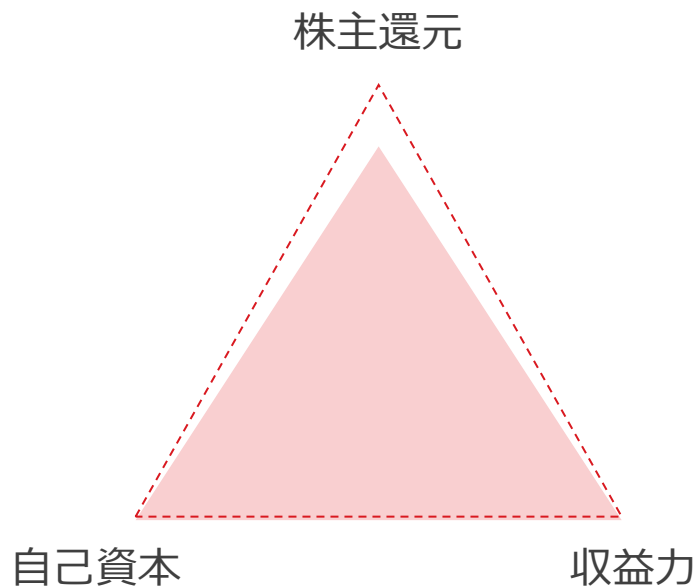
1. 会社概要・沿革
2. 中核3事業の概要
3. 2023年度の振り返り
4. 業容・業績
- 5. 配当の状況**
6. 2024年度の計画

資本政策の基本的な考え方

財務健全性の維持向上と株主還元の拡充を図る

2024年度末に目指す姿

(中期経営計画策定時)



ROE : **10%** 程度

自己資本比率^{*1} : **25%** 程度

配当額 : 未定
(安定的、継続的な配当を目指す)

配当性向 : **35%** 程度

* 連結総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率

配当の基本的な考え方

高い収益力と適正な自己資本のもと、株主還元の拡充を図る

収益力

ROE **8.8%**

- ・ 営業収益：2,947億円 計画比+0.6%
- ・ 営業利益：863億円 計画比+2.2%

自己資本

自己資本比率* **23.3%**

- ・ 目標とする25%に向けて順調な積み上げ

株主還元

中間配当 **6円** 期末配当 **6円**

- ・ 計画を上回る業容拡大、新規獲得により期末配当は予想通り6円*2、年間では12円

通期の配当性向は**35.4%**

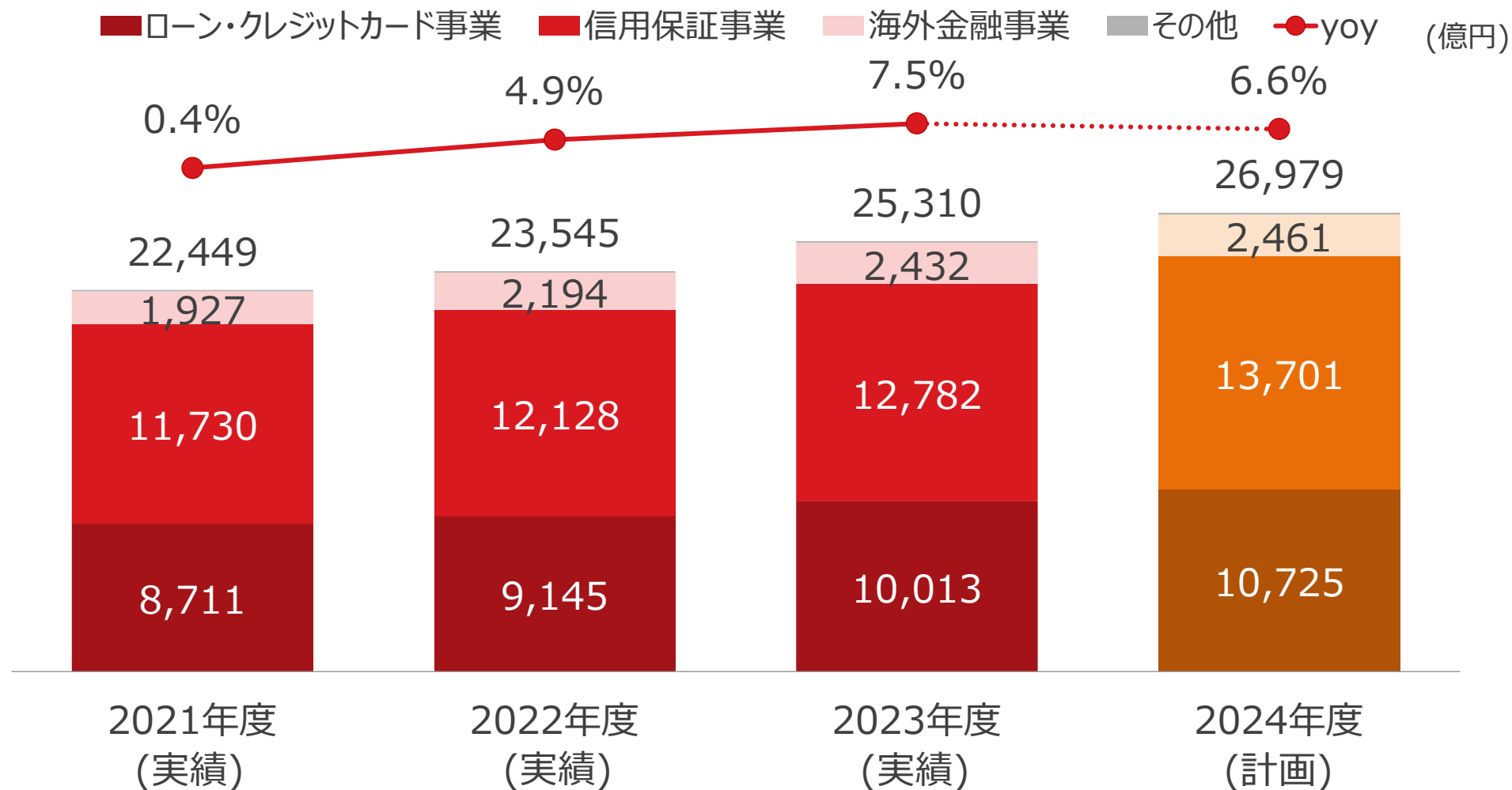
1. 会社概要・沿革
2. 中核3事業の概要
3. 2023年度の振り返り
4. 業容・業績
5. 配当の状況
- 6. 2024年度の計画**



2024年度の業容（計画）

6. 2024年度の計画

- 国内事業は、足もとの状況が第1四半期まで継続し、第2四半期以降はコロナ禍前の水準に徐々に戻っていくことを前提に計画策定

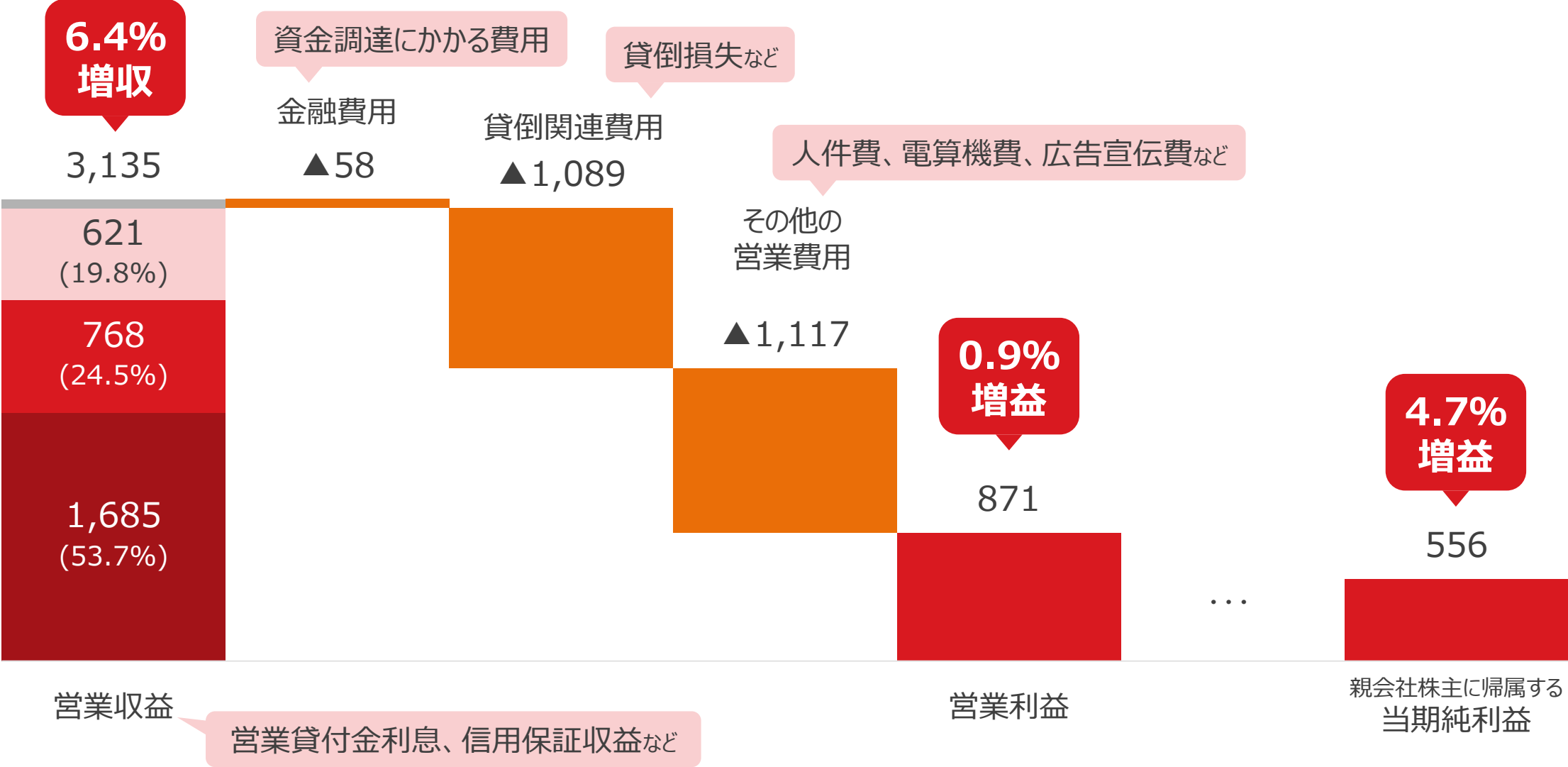




2024年度の業績（計画）

6. 2024年度の計画

■ローン・クレジットカード事業 ■信用保証事業 ■海外金融事業 ■その他 (億円)

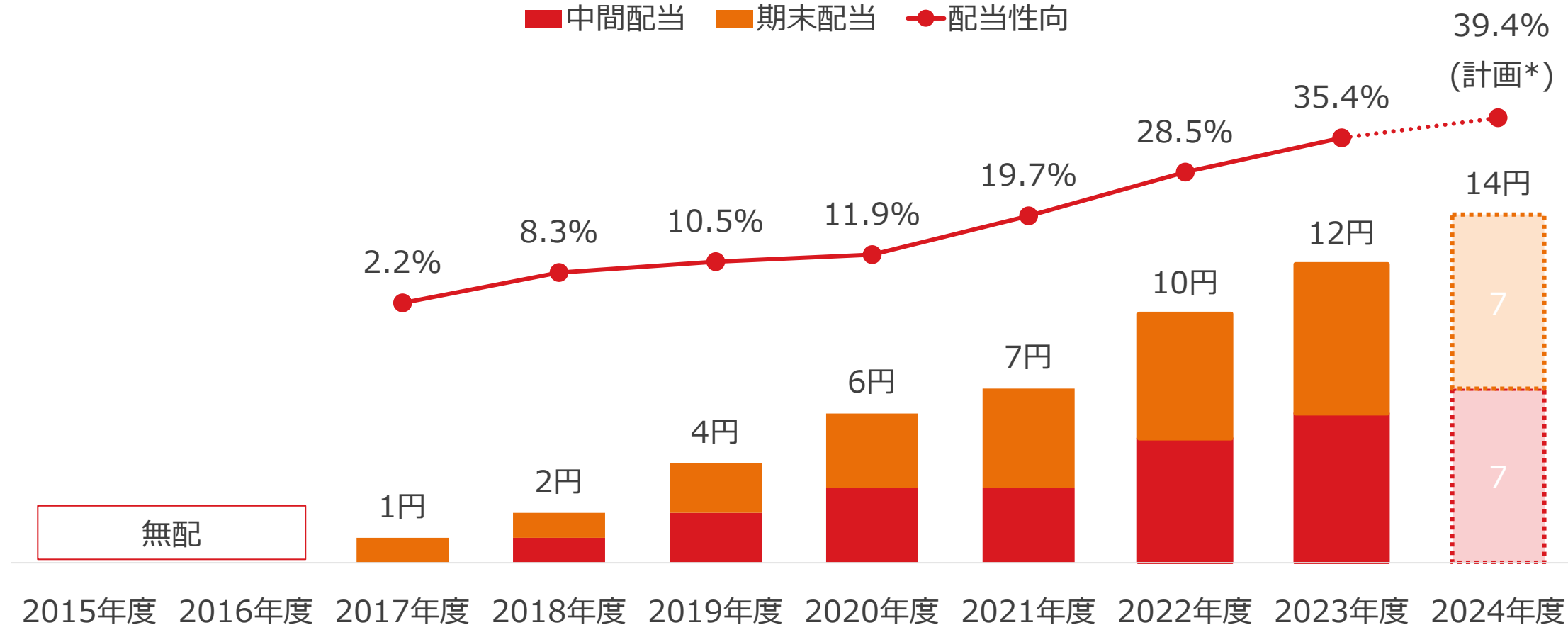


配当の基本的な考え方

高い収益力と適正な自己資本のもと、株主還元の拡充を図る

1株あたり年間配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 配当性向



* 2024年度の中間・期末配当および配当性向は予想値

